

IEEE 5G Summit 2016 が、2016年10月29日(土)、中国・天津で開催された。5GMFから佐藤事務局長が参加して講演を行うとともに、パネルディスカッションに参加した。2つのセッションで9件の招待講演があり、約170名が聴講した。

## IEEE 5G Summit 2016の概要

- 日時: 2016年10月29日(土) 9:00~18:00
- 場所: 南開大学の大講義室(中国・天津)
- 主催: 南開大学(後援:IEEE Communications Society)
- 参加者: 講演者、9名。聴講者、約170名。  
(日本からの講演者: 東京大学 教授 中尾氏、NTTドコモ 岩科氏、日立 花岡氏、ARIB 佐藤氏)
- 概要:
  - 本サミットの共同実行委員長であるGONG Ke教授(南開大学・学長)の歓迎の挨拶の後に、同じく共同実行委員長である浅谷教授(元工学院大学教授)が「Network evolution toward 5G and beyond」と題し、本Summit開催の経緯・背景を述べるとともに5Gの技術動向に関する基調講演を行った。
  - 2つのセッションでは、5Gのサービス、無線・ネットワーク技術、セキュリティ、端末等の幅広いテーマの講演があり、活発な質疑応答が行われた。
  - 佐藤事務局長は、「5GMF activities towards 2020 and beyond in Japan」と題し、5GMF設立の背景と概要及び白書にフォーカスした最新動向について講演を行った。5Gにおける無線での重要な課題、5G用スペクトラムの共用検討の進捗状況に関する質疑応答を行った。
  - 最後に、共同実行委員長の浅谷教授が、ラップアップを行い、このようなサミットを継続的に行うことが重要と締めくくった。



主催者と講演者の記念写真